

弊社製のユニオンをご使用いただく場合について、ガスケットメーカーが示している使用上の注意点を基に施工上の注意点について下記にまとめています。

1. 使用温度、圧力

温度は -20 ～ 130 、圧力は 0 ～ 1MPa の範囲内で使用できます。
130 を越えて使用する場合、負圧又は 1MPa を越えて使用場合はご相談下さい。

2. 使用可能な流体

水・温水・蒸気・油類・溶剤・化学薬品・空気・排ガス・不活性ガス等に使用出来ます。
強酸の一部(塩酸、硝酸、硫酸、ふっ酸等)及び有毒・可燃性・支燃性ガス流体には使用出来ません。
従来のアスベストとほぼ同等の流体に使用出来ます。

3. ガス系流体の場合

ガス系流体の場合は ガスケットの表面及び内周にシールペーストを均一に塗布してください。
気密試験は 締付直後に行うと漏れを生じる場合があります。
(2 ～ 3 時間放置後に気密試験を行うことをお勧めします。)
シールペーストは微量の溶出も嫌う流体には使用出来ません。

4. 液体系流体の場合

液体の場合はシールペーストを塗布しないでください。割れの原因になることがあります。

5. その他の注意点

- (1) 片締めにならないように施工し、ガスケットに配管応力がかからないように管理して下さい。
漏れ・割れなどの原因になることがあります。(エキスパンション等の併用を考慮して下さい。)
- (2) 締付分解後のガスケット再使用は出来ません。
継手のガスケット接触面を清掃して、新しいガスケットと入れ替えてください。
- (3) 微細な漏れも許容されない用途には使用しないでください。
微細な浸透漏れを生じることがあります。
- (4) 100 以上で使用する場合は施工後、昇温直後に増し締めをしてください。
時間が経過してから増し締めはしないでください。割れの原因になることがあります。
- (5) メンテナンスが困難な箇所での施工はしないでください。(定期交換必要)
- (6) 配管施工は片側から順番に締め付けてください。ユニオンの中間挿入は配管長のバラツキ等による締付不足に注意して下さい。

6. ナットの締付は流体性状(液体・蒸気・気体)により、それぞれ下表の最小締付トルク以上で、
なおかつ流体性状にかかわらず、下表の最大締付トルク以下で締め付けてください。
締付トルクが小さ過ぎると漏れ、大き過ぎると割れの原因になることがあります。

単位 N・m

	流体	1/8	1/4	3/8	1/2	3/4	1	1 1/4	1 1/2	2	2 1/2	3	4
最小締付トルク	液体	15	30	49	64	106	178	275	389	667	1,147	1,629	3,220
	蒸気	21	40	65	86	143	239	370	523	897	1,543	2,191	4,331
	気体	23	46	75	98	163	273	423	598	1,025	1,764	2,504	4,950
最大締付トルク		30	59	95	125	208	348	539	763	1,307	2,249	3,194	6,314

シールペースト(ノンアスベスト用)の種類

オーエヌ工業株式会社

2005.9. 1

メーカー	品名	型番	主成分	接合剤	色	主な用途	単位
ピラー	ガスケットペースト	No.50	雲母		白	水・空気・酸・アルカリ・油・炭化水素	1.5 Kg ポリ缶
	ガスケットペースト	No.5M	雲母	油溶性	白	水・酸・アルカリ・塩類	2.5 Kg ポリ缶
	ガスケットペースト	No.6M	雲母	水溶性	白	油・溶剤・ガス・炭化水素	2.5 Kg ポリ缶
	シールペースト		無機充填剤	不乾性油質	薄茶	水・ガス・油・炭化水素・耐隙間腐食	0.8 Kg ポリ缶
	ニューバルフロンペースト		弗素樹脂	界面活性剤	白	強酸・強アルカリ・ガス	0.1 Kg チューブ
ニチアス	アクアタイトペースト		雲母	油溶性	クリーム	水・酸・アルカリ・塩類	2.5 Kg ポリ缶
	オイルタイトペースト		雲母	水溶性	クリーム	油・溶剤・ガス・炭化水素	2.5 Kg ポリ缶
	ナフロンペースト		弗素樹脂	水溶性	白	水・油・腐食性・真空	0.1 Kg チューブ
	弗素グリース		高分子微粉末	弗素樹脂オイル	白	酸素・腐食性・真空・150 まで	0.05 Kg チューブ